

東アフリカ（ケニア、エチオピア、タンザニア）における心臓カテーテル治療の高度化と人材育成プロジェクト 3年計画の1年目

1. 案件目的 日本の安全な心臓カテーテル治療技術と教育手法を東アフリカへ導入し、①ケニア人講師による次世代東アフリカ人医師の基礎技術習得、②日本人講師による上位層医師の安全な高難易度症例技術習得、及び次世代日本人講師の育成

2. 案件の概要

R5年～R7年の事業活動で研修環境整備が進むケニア（ナイロビ）を中核拠点として、日本の循環器内科医、ケニア心臓学会・保健省等、各国学会・保健省と連携し、安全な心臓カテーテル治療技術の導入を推進する。研修は、①東アフリカの次世代医師を対象とした基礎研修、②ケニア首都圏の上位層専門医を対象とした高難易度症例と合併症対策研修の二層構造で実施する。

3. 案件の成果、着地点

①次世代医師が基礎症例を、②上位層医師が高難易度症例を、それぞれ自立して安全に実施できる技術習得を成果とする。3年後には、東アフリカ各地域で技術を継続的に伝達できる体制を確立し、心臓カテーテル治療の自走可能な研修基盤が構築されている状態を目指す。また、次世代日本人講師が国際教育経験を蓄積することで、将来の日本側の教育人材育成にも寄与する。

